



短距離界に新星現る

勢いこそ弱かったが、長時間にわたって降り続く雨の影響で、スピードに加えパワーも要求される馬場状態になった第47回高松宮記念。この「稍重」馬場の適性も勝敗を大きく左右するものと思われた。

1番人気に推されたのは、前年のスプリンターズステークスを制したレッドファルクス。年末の香港スプリントは12着に大敗したが、2度目のGI制覇に向けて調教のピッチを上げ、大一番に臨んできた。2番人気は2015年の



◀4コーナーでは、セイウンコウセイ(帽色・赤・左)が前との差を詰める。



▲アドマイヤムーン産駒初のGI馬となったセイウンコウセイ。

桜花賞馬、レッツゴードンキ。短距離戦でコンスタントに良績を残しているGIウイナーは、前走の京都牝馬ステークスでの圧勝をステップとしての出走となった。そして、メラグラーナ、シュウジらが上位2頭に続いて評価された。

しかし、タフな馬場状態のもとで行われたこの一戦は、一筋縄では収まらなかった。

全馬揃ってのスタートを切ると、シュウジ、ラインスピリット、トウショウピスト、ワンスインナムーンらが先行。先頭をうかがう勢いだった5番人気のセイウンコウセイはやや位置を下げて、先行勢の直後を追走し、レッドファルクスは中団、レッツゴードンキは後方の12~13番手あたりでレースを進めた。前半の3ハロンが33秒8と、稍重馬場としては速いペースでレースは進み、先行勢が馬場の外めにコースを取りながら直線へ。ぽっかりと空いたインコースを突いたレッドファルクス、レッツゴードンキが抜け出しにかかるが、そこへ馬場の中ほどから豪快に伸びてきたのがセイウンコウセイ。内で競り合う2頭を外から飲み込むと、後続に1馬身 $\frac{1}{4}$ の差をつけて快勝した。

セイウンコウセイは父にアドマイヤムーンを持つ4歳牡馬。初勝利まで7戦を要したものの、3歳の5月以降は着実にクラスをステップアップさせてきた。そして重賞初挑戦となった前走のシルクロードステークスで2着に健闘すると、GI初出走の本レースでついに大願を成就した。重馬場で行われた前年の渡月橋ステークス(1600万下)では、2着に2馬身半差をつけて圧勝した実績を持つように、力の要る馬場への適性の高さも生かしての勝利だった。

第47回高松宮記念(GI)

3/26 中京競馬場 1200m(芝・左) 小雨・稍重 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手	調教師	タイム/着差	人気	通過順位
1	セイウンコウセイ	牡4	57	幸 英明	上原 博之	1:08.7	⑤	④④
2	レッツゴードンキ	牝5	55	岩田 康誠	梅田 智之	1 1/4	②	⑬⑫
3	レッドファルクス	牡6	57	M. デムーロ	尾関 知人	クビ	①	⑧⑥
4	ティールーフ	牡7	57	国分 優作	西浦 勝一	1 3/4	⑬	⑪⑨
5	フィエロ	牡8	57	内田 博幸	藤原 英昭	ハナ	⑦	⑮⑮
6	トーキングドラム	牡7	57	藤岡 康太	斎藤 誠	1/2	⑩	⑩⑨
7	スノードラゴン	牡9	57	大野 拓弥	高木 登	クビ	⑪	⑪⑫
8	ナックピナス	牝4	55	石川裕紀人	杉浦 宏昭	クビ	⑫	⑥⑧
9	ソルヴェイグ	牝4	55	田辺 裕信	鯨島 一步	クビ	⑥	⑥⑥
10	メラグラーナ	牝5	55	戸崎 圭太	池添 学	クビ	③	⑬⑫
11	ヒルノデバロー	牡6	57	四位 洋文	昆 貴	3/4	⑨	⑮⑮
12	バクシンテイオー	牡8	57	A. シュタルケ	堀 宣行	クビ	⑦	⑮⑮
13	ラインスピリット	牡6	57	森 一馬	松永 昌博	1/2	⑭	②①
14	クリスマス	牝6	55	藤岡 佑介	伊藤 大士	1 1/2	⑬	⑧⑨
15	シュウジ	牡4	57	川田 将雅	須貝 尚介	クビ	④	⑪⑫
16	ワンスインナムーン	牝4	55	石橋 脩	斎藤 誠	1/2	⑧	④④
17	レッドアリオン	牡7	57	菱田 裕二	橋口 慎介	1/2	⑩	⑮⑮
18	トウショウピスト	牡5	57	吉田 豊	角田 晃一	4	⑮	②③

単勝⑥870円 複勝⑥230円 ③180円 ⑦160円 枠連(2-3)2,490円
馬連③-⑥2,150円 馬単⑥-③4,750円 ワイド③-⑥770円 ⑥-⑦700円 ③-⑦480円
3連複③-⑥-⑦3,230円 3連単⑥-③-⑦23,880円

ハロンタイム 12.3-10.3-11.2-11.4-11.3-12.2
通過タイム 600m③33.8-800m④45.2-1000m⑤56.5

優勝馬 セイウンコウセイ

2013.3.8生 父アドマイヤムーン 母オブザーヴァント 母の父Capote
新ひだか・桜井牧場生産 馬主：西山茂行氏